



■ごあいさつ■

平素は私ども静清信用金庫をご支援・ご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

本年も皆さま方に当金庫をより一層ご理解いただくため「せいしんディスクロージャー2015」を作成いたしました。本誌には、「せいしん」の経営方針や業績に加え、経営計画のもと進めてまいりました各種取組みを取りまとめましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

平成26年度は、日銀による追加金融緩和等の影響により円安・株高が進むなか、円安の恩恵を受ける大企業と負担の増加する中小零細企業の業績回復に大きな足並みの違いが見られました。

なかでも、産業構造に特徴がある当地域の景況感は、全国に比べて回復に遅れが目立つなど、経営環境は楽観できるものではありませんでした。

このような状況下、3か年を計画期間とした中期経営計画「せいしん BUILD UP プロジェクト」も総括の年を迎え、本計画が目指す「強い経営体質の構築」の実現に向け、成長分野に進出する事業者向け融資商品の取扱いや、公的補助制度活用のお手伝いなど、地元事業者の皆さまの成長と地域経済の活性化に注力してまいりました。

平成27年度の日本経済は、大企業の好業績を背景にした雇用環境の改善や賃金上昇による個人消費の回復、中小零細企業の設備投資も旺盛になるといった「所得から支出への好循環メカニズム」の実現が期待されております。しかしながら、大企業を中心に景況感が上向く一方、人口減少や大都市への一極集中は益々進み、地域経済の衰退は現実味を増しつつあります。

このように、地域を取り巻く経済環境は厳しさを増すことが予想されておりますが、当金庫がこれからも地域に必要とされる金融機関であり続けるために、平成27年度からの3年間を計画期間とする新中期経営計画「礎^{いしずえ}(ISHIZUE)」を策定いたしました。今年度は新計画のもと、『いかなる環境下にあっても、地域と共に成長し続ける「せいしん」』を目指し、これから当金庫が直面する様々なリスクや環境の変化にも的確に対応できる「新たな成長基盤づくり」に挑戦してまいります。

最後に、皆さま方の一層のご健勝をお祈り申し上げますとともに、益々のご理解、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年7月

理事長 加藤 誠